

2022年度事業報告書

特定非営利活動法人 チャイルドドクター・ジャパン

I 事業の期間

2022年4月1日～2023年3月31日

II 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

①東アフリカケニアでのボランティア医療活動

i) 海外活動

ナイロビのケニア事務所を基盤に次の事業を実施した。

(ア) 医療スポンサーシップ事業（チャイルド支援事業）

ii) 国内活動

(2) その他の事業

②東アフリカケニアの特産品・民芸品の販売

◎総括

まず2022年度の事業を概括する。コロナ禍の中、ケニアでの医療支援事業を、例年通り実施できた。支援しているチャイルド数は、直近では、496人（2015年度末）、473人（2016年度末）、472人（2017年度末）、470人（2018年度末）、583人（2019年度末）、700人（2020年度末）、888人（2021年度末）と推移していたが、2022年度末時点では、1014人のチャイルドを支援登録しており、昨年度に比べて、支援チャイルドの数が16%増となった。

◎各事業詳細

(1) 特定非営利活動に係る事業

①東アフリカケニアでのボランティア医療活動

i) 海外活動

(ア) 医療スポンサーシップ事業：

a. 保健医療サービスの提供

チャイルドドクター制度^{*1}を利用し、子ども達への無料医療支援と手紙配布事業を行った。2023年3月時点で、低所得地域に暮らす子ども915人（前年同時期774人）、孤児院・施設に暮らす子ども59人（同73人）、慢性疾患を患う子ども40人（同41人）、合計1014人（同888人）が登録され医療支援を受けている。

具体的には、

①支援が必要なチャイルドの選定、②医療施設の選定、③患者搬送の手配、

④チャイルドが利用する医療施設等への支払い、⑤慢性疾患児の装具の発注と配布、

⑥手術の手配と入退院のサポート、⑦検査の手配、⑧リハビリの手配、

⑨慢性疾患児の薬品の発注と配布、⑩チャイルドの死亡時の対応、

⑪チャイルドからのお手紙受け取り業務、⑫ドクターからのお手紙配達業務、

⑬スタッフからドクターへのチャイルドの状況報告業務、

⑭支援者からケニア事務所への問い合わせへの対応、

を実施した。⑮ドクターの現地訪問対応は、前年度に引き続き、コロナ禍のため中止した。

チャイルドへの支援サービスでは、プログラムに登録しているチャイルドの医療費はすべて無料とし、外来・検査・薬・リハビリ・手術や専門的治療、加療を含む高度な医

療サービスを、提携する国立・県立・民間病院等で受けられるようにした。そのすべての治療費を団体が負担した。

b. 現金給付の実施

支援している貧困地域において、今期も火事が発生した。被災した支援チャイルド家庭に対して、火災後の引っ越し費用や、焼失した家財道具の購入費用を助成した。

ii) 国内事業

2023年3月末時点の各会員数は、正会員90人・501口（年会費1口1,200円）、賛助会員2社・30口（年会費1口100,000円）、継続支援会員2,752人・3,487口（年会費1口12,000円、18,000円、24,000円）であった。

a. 会員維持（継続支援会員＝チャイルドドクター）と会員拡大

2008年12月にチャイルドドクター制度を開始。2023年3月末時点で、2,752人が支援登録中（昨年同時期2,524人）。退会者数156人（昨年同時期84人）、新規入会数384人（昨年45人）。また、支援口数は、1,000円換算で4,327口数の登録（昨年同時期3,604口）であった。なお、退会者156人のうち、本人申出の支援中止は137人。残り19人については、「支援金長期未納・支援再開依頼に回答なし（又は連絡不能）」のため、事務局で登録解除した。

※1 チャイルドドクター制度

1口1ヶ月1,000円～の支援金で1人の子どもと交流しながら医療支援を実施。会員種別は「継続支援会員」、スポンサーを「ドクター」、支援児を「チャイルド」と呼ぶ。ホームページ上で支援申し込みができる。支援を受けた子どもは無料診察券を受領し、医療サービスを無料で受けられるようになる。支援金（会費）納付はクレジットカード決済、銀行振込を利用（利用比率：カード決済60%、銀行振込40%）
尚、2022年度より、新規会員に対しては、1口1ヵ月1,000円をなくし、1口1ヵ月1,500円以上の支援のみとした。これは、円安による為替レートの悪化、世界的な物価上昇により、月1,000円の支援額では、現地での医療費をまかなうことができず、子ども達の治療を継続できなくなっている為である。

2019～2022年の4年間の継続支援会員の月平均支援額は、前年度を100%とした時、翌年度の割合を見てみると4年平均100.39%で推移している。2022年度は106.69%で、例年通りの高い維持率で推移している。これは、メディアライツ社提供のお手紙配布システムの利用、現場担当スタッフの手紙配達（2022年度は14,202通の手紙をケニアから支援者へ配布）、翻訳ボランティアによる翻訳作業（翻訳ボランティア登録者数1,747人）、日本人医師による医療レポート、リハビリの先生方からのリハビリレポート、入退院の連絡、facebookやブログでの報告、本部スタッフによる未納連絡等により、高水準を維持し続けている。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
月平均支援額	2,071,162円	2,095,537円	2,080,870円	2,220,162円
前年度比円	△122,041円	+24,375円	△14,667円	+139,292円
前年度比%	94.43%	101.17%	99.3%	106.69%

b. 広報・PR

支援者の獲得が最優先事項である。しかし、これまで有効なマーケティング戦略がなく、新規の支援者を獲得することができていなかった。Zoomでケニアのスラムから生中継したこれまでのオンラインスラムツアー・交流会が好評であったため、2022年

度は参加者がより深く関わるができるようにボランティア要素を組み込み、主に中高生対象の「広報ボランティア」「アフリカ子ども食堂ボランティア」プロジェクトを実施した。月1回・半年間のボランティアへの参加募集はボランティアサイトに広告を出稿した。活動を通じて団体の認知度が向上し、ボランティア参加とチャイルド支援を組み合わせることで、多くの支援者獲得に繋がった。

2023年度はさらにプロジェクトを増やし、「広報ボランティア」「アフリカ子ども食堂」「アフリカシングルマザー食料支援」「職を生み出せ！アイデアコンテスト」「ギフトナプキンプロジェクト」「スラムから生み出せ！未来ドクタープロジェクト」等を実施していく予定である。

c.オーナー制度

オーナー制度を創設し、団体のオーナーになってくださる個人や法人に、資金援助を募った。2022年度は、法人2社、個人2名のオーナーを獲得した。

d.システム

予定していた未納会員に対する自動督促機能、寄附後の自動領収書発行機能等については導入できなかった。

e.表彰

翻訳ボランティアの方へ賞状を授与した。年間の翻訳実施数で上位100人の中から、翻訳した手紙が他の模範となる方を選び、日頃の感謝を込めて、団体から賞状を授与した。

(2) その他の事業

②東アフリカケニアの特産品・民芸品の販売

事務局運営上の問題で地域イベントでの販売会は実施しなかった。

Ⅲ 事業の実施状況

(1) 特定非営利活動に係る事業

①東アフリカケニアでのボランティア医療活動

〔内 容〕 東アフリカケニアでのボランティア医療活動

〔実施場所〕 東アフリカケニア

〔実施日時〕 通年 平日（※）8時45分～16時15分（※ケニアの祝祭日を除く）

〔事業の対象者〕 東アフリカケニアで医療を必要とする人

〔収 入〕 37,485,575 円

〔支 出〕 26,873,651 円

（人件費 7,945,301 円、会議費 15,423 円、旅費交通費 480,860 円、通信費 734,570 円、消耗品費 119,070 円、地代家賃 240,160 円、支払報酬 2,510,187 円、支払手数料 340,094 円、ソフトウェア・保守管理費 216,019 円、医療品費 10,368,194 円、業務委託費 3,903,773 円）

(2) その他の事業

①会報冊子販売

〔内 容〕 オリジナルカレンダーを会員および一般に販売

〔実施場所〕 日本国内

〔実施日時〕 通年

〔事業の対象者〕 日本在住者

〔収 入〕 0 円

〔支 出〕 0 円

②東アフリカケニアの特産品・民芸品の販売

〔内 容〕 ケニアの特産品・民芸品を会員および一般に販売

〔実施場所〕 日本国内

〔実施日時〕 通年

〔事業の対象者〕 日本在住者

〔収 入〕 0円

〔支 出〕 0円

IV 社員総会の開催状況

〔名 称〕 2022年度総会

〔日 時〕 2022年6月28日（火曜日）15時から15時30分まで

〔場 所〕 社会医療法人医真会 本部棟1階 会議室

〔社員総数〕 正会員96名

〔出席者数〕 72名

うち、委任状出席37名（議長31名、理事長森功6名）

書面表決31名（第1～3号議案：賛成）

〔議案の内容〕 第1号議案 2021年度事業報告について

第2号議案 2021年度収支決算報告について

第3号議案 議事録署名人の選任について

〔審議結果〕 以下の通り

第1号議案 審議の結果、全員異議なく承認された

第2号議案 審議の結果、全員異議なく承認された

第3号議案 全員一致で議長一任となり、議長指名の2名が承諾した

V 理事会の開催状況

〔名 称〕 2022年度理事会

〔日 時〕 2022年9月26日（月曜日）10時30分から11時まで

〔場 所〕 社会医療法人医真会 本部棟1階 会議室

〔議案の内容〕 第1号議案 2022年度事業計画について

第2号議案 2022年度活動予算について

第3号議案 議事録署名人選出について

〔審議結果〕 以下の通り

第1号議案 審議の結果、全員異議なく承認された

第2号議案 審議の結果、全員異議なく承認された

第3号議案 審議の結果、全員異議なく承認された

以上